

改訂新版

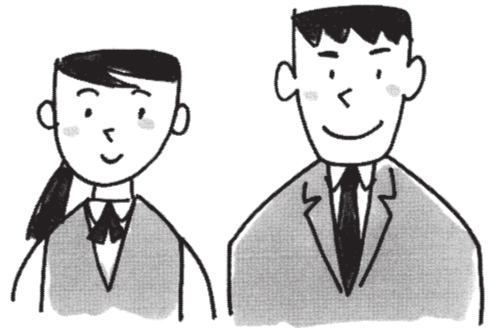
新・社会人の行動入門 f-0

# 新・社会人の心得

【心がまえ・基本編】

## 社会人の心得

[心がまえ・基本編]



### はじめに

新・社会人の皆さんといっしょに、これから社会人の心得を考えてみることにしましょう。社会人とは何か——その定義はさておき、ここでは会社で仕事をして給料を得るという一般のビジネス・パーソンを想定しています。会社の組織の中でどのように仕事をし、人間関係をつくり、いかに自分の成長につなげていくか、そのためにどんな行動をすべきかを検討します。

社会人であるためには、自立した個人としての“責任”を持たねばなりません。これが第一です。そして、仕事に対しては“権利”と“義務”の関係をきちんと自覚することが大切です。会社で仕事をしていくと、さまざまな出来事や課題にぶつかります。いろいろな失敗もすることでしょう。そんな中で絶対に忘れてはならないことがあります。それが基本の心がまえです。常に意識化しなければならないその基本を、この単元では学習してください。

社会人の心得とあらためて言われると、いかにもたいへんそうなことに思われがちですが、決してそうではありません。人間としての常識をわきまえていればそれで十分なのです。基本を繰り返しながら自分の力をつけていくのがいまの段階です。その中で、真に実力のある自己を確立すること。それが当面の最大の課題といえます。仕事を面白くするための土台を築きましょう。

# CONTENTS

● はじめに .....	3
● あなたの社会人としての成熟度をチェックしよう .....	5
日常生活のチェック・仕事への姿勢・将来への展望	
<b>I 仕事をするとはどういうことか・基本のはなし [基本編] .....</b>	<b>9</b>
1. いま、ここでの差が一生を左右する	2. 安易な結論に飛びつくな!
3. みんながあなたに注目している	4. 謙虚に学ぶ姿勢を身につけよう
5. 失敗を経験して人は成長する	6. やっぱり基本がいちばん大切
7. 楽しみながら働こう	8. 自信があなたを変えていく
9. あなたの仕事はいくらになるか	10. 「働く人」から「傍を楽にする人」へ
<b>II 新・社会人の仕事と生活の基本・24の心がまえ [実践編] .....</b>	<b>21</b>
1. 仕事は真剣勝負の世界だ.....	22
2. 組織の中の新・社会人の位置づけ.....	24
3. 仕事の評価は結果がすべて.....	26
4. 職場には守るべきルールがある.....	28
5. 職場の暗黙の掟に注意しよう.....	30
6. 人間関係は本当に煩わしいか.....	32
7. 上司との人間関係をどうつくるか.....	34
8. 自分の殻を破る努力をしてみよう.....	36
9. 自己チューはどこでも嫌われる.....	38
10. 時間の上手な使い方を覚えよう.....	40
11. 考えて仕事をするクセをつけよう.....	42
12. 仕事のすすめ方のポイント.....	44
13. 仕事をシステム化しよう.....	46
14. 報告・連絡・相談の基本ルール.....	48
15. ミスや失敗をしたときの対処法.....	50
16. 叱ってくれる先輩に感謝しよう.....	52
17. 真似したくなる先輩を見つける.....	54
18. できる人に仕事は集まる.....	56
19. カタチよりも中身を大切に.....	58
20. 経営者の視点で見えてみよう.....	60
21. 存在感をアピールする.....	62
22. 目標を決め明確に書き出そう.....	64
23. 体力なき知性は長続きしない.....	66
24. 新入社員といえども会社の代表.....	68
<b>III 新・社会人の必修課題の確認・ポイントの整理 [発展編] .....</b>	<b>71</b>
1. 会社というしくみを理解する	
2. 仕事の流れを確実にとらえる	
3. 正しい基本動作を身につける	
4. 豊かな人生のための目標づくり	

# あなたの社会人としての成熟度をチェックしよう

## 日常生活

### のチェック

本書を読む前に、まず次の3つのチェックリストであなたの社会人としての成熟度をチェックしてみましょう。それぞれ5点満点で自己チェックし、各項目ごとの合計点を出してください。

#### 【 質 問 項 目 】

- |                             |       |       |       |       |       |
|-----------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ①毎朝決まった時間に起きることができる         | 5     | 4     | 3     | 2     | 1     |
| ②朝食は必ずとるようにしている             | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ③毎朝ひと通りは新聞（スポーツ紙以外）に目を通している | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ④出かける前に忘れ物がないよう所持品を確認している   | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑤通勤時の衣服は毎日替えるようにしている        | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑥ハンカチはきちんとアイロンのかかったものを持っていく | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑦駅や列車の中などでもまわりを意識して行動する     | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑧出勤時にはみんなに自分から挨拶する          | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑨昼食時などに職場のみんなと談笑している        | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑩自分から提供できる話題をいつも持っている       | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑪必要があれば自分の意見をはっきりと述べることができる | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑫自己紹介やミーティングで発言できる          | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑬マメにメモをとることができる             | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑭会社以外の親しい友人（複数）とつきあっている     | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑮お酒の量はほどほどで、二日酔いになるようなことはない | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑯カラオケなどではしゃぎすぎない            | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑰就寝時間はだいたい決まっていて夜ふかしをしない    | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑱睡眠時間は7時間以上確保している           | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑲日頃から軽い運動などをやり、体調の維持に努めている  | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑳休日には思いきってストレスを解消できる趣味がある   | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |

合計点

## 結果の見方・考え方

### 日常生活の チェック

■毎日の生活態度がきちんとしていること、これが社会人の第一の資格要件といってよいでしょう。チェックリストの結果を合計すると100点満点になります。**90点以上**ならベストといえますが、**80点**もあればいまの段階では十分と見てよいでしょう。**70点以上**でまずまず、最低でも**65点**はほしいところです。それ以下の場合は、まだ学生気分が抜けていないと見られても仕方ありません。

■生活の基本は時間のケジメ・人・物・金（カネ）に対するケジメがつけられるかどうかです。新・社会人としての緊張がゆるむ入社3ヵ月目あたりが要注意です。

### 仕事への 姿勢

■仕事に取り組む姿勢こそ新・社会人がいちばん見られているところ。あまり難しく考えすぎてもいけません。反対にあまり安易に考えすぎると失敗します。このチェックの結果は、**80点以上**あれば十分としましょう。**70点以上**ならまずまず、**60点以上**でかろうじて合格です。

■日本経済はいま大きな転換期にあります。その中で「仕事観」も揺れています。画一的に考えることはできませんが、「自立した個」が求められていることは事実です。⑳の「会社のために働くな、自分のために働け」と言ったのは、ホンダの創始者本田宗一郎氏です。

### 将来への 展望

■自分の将来を夢見ることは人間に与えられた特権です。いつまでも若くはありませんが、年齢にこだわらず若々しい活力あふれる生き方ができるようにしたいものです。このチェックリストを厳しく自己採点すると、なかなか80点に達しないかもしれません。それでよいのです。常に行動し自己啓発を続けることによって、**80点以上**になるように努力しましょう。

■⑪～⑯でチェックしていただいた項目は、将来どんな仕事をしていく場合にも必要なリテラシー（基礎能力）となるものです。身につけるべき時期はいまです。明日からといわず、きょうから実践的に取り組みましょう。

# I

[基本編] 新・社会人の心得

## 仕事をするとは どういうことか

### 基本のはなし

いま、日本の会社、組織は、大きな転換期を乗り越えようとしています。終身雇用制度の崩壊の結果、会社・組織は、リストラをはじめとする選択定年制、年俸制、退職金の前払い制度など、多くの構造改革を迫られることとなりました。今後も、この傾向は、大企業に限らず多くの企業に雪崩現象のように広がっていくものと思われます。

皆さんは、これまで、学校（学歴）という登竜門を、それなりの努力でくぐり抜けてきました。しかし、それは単なる登竜門にすぎません。なぜなら、先に出口が見える門だからです。就職の決定（内定）という登竜門は、これまでのそれとは、ニュアンスが違います。まして、社会環境が大きく変化しています。従来のように、就職できたからなどと安閑とはしてられない世の中なのです。

# 1

## いま、ここでの差が一生を左右する

心がまえ

いまのあなたに必要なことは、新・社会人として、しっかりとした**心がまえ**を持つことです。会社側は、当面、一人前の仕事がこなせるなどと期待してはいません。期待しているのは、しっかりとした心がまえを身につけて、着実に成長していく**前向きに努力する姿勢**に対してです。

前向きの姿勢

1日も早くそれに応えるための、自覚と努力が求められているのです。具体的な基本行動（各論）については、第II章で触れることになりません。ここでは、その前提となる**心得の意識化**について考えてみましょう。

心得の意識化

面白い傾向

私は、長年、教育コンサルタントとして各種の研修を担当しています。これまで、新・社会人の研修も数多く手掛けてきました。その中で、**面白い傾向**に気がついています。初対面ですから、その人となりを十分に理解することはできません。しかし、長年の勤で「この人は伸びるぞ」と直感することがあります。同じスタートラインに立っているのに**何かが違う**のです。目の輝き、真剣に聞く態度、素直な人柄、穏やかな話しぶりなどに、その人の素晴らしい**個性**が現われ、伝わってくるのです。

何かが違う

個性

時が経ち、1年後のフォロー研修や3年次の研修で同じメンバーに会うことがあります。案の定、かなり高い確率でその人は大きく成長しています。ある会社の女性社員もそうでした。入社して、しばらくすると社長秘書に抜擢されました。10年近く、信頼と高評価の中で会社に貢献しました。いま、彼女は福祉の仕事に新たに情熱を捧げようと退職して勉強中です。反面、まだ学生気分が抜けなくて甘えが見えたり真剣さが感じられない人は、これまた、かなり高い確率で、数年経ってもそれを引きずって生きているようです。

3日、3月、3年

「**3日、3月、3年**」といわれるように、人生の節目節目でどのような生き方をしたかが、その人の一生を左右するのかもしれませんが。これからは、**能力（実力）主義**がますます加速化します。「私は新人だから……」などと安易な甘えや考えは、許されない時代なのです。

能力（実力）主義